

令和6年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT 機器を用いた授業とアクティブラーニングの工夫により、英語の基本的な知識（単語・文法）を身につけてきている。特に生徒同士で簡単な英語でのやり取りがスムーズにできるようになっており、またグーグルスライドを使用したプレゼンテーションにも慣れてきている。

(2) 課題

- ・英作文を書く能力は、どの学年の生徒においても伸ばすべき課題である。学んだ単語、文法を正しく使用して、文として表すことを苦手とする生徒がまだまだ多い。スピーチテストを通して、学んだ英語表現を使用する機会を授業内で作っていく必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも少し上回っている。		
第2学年	区の標準スコアよりも少し上回っている。	区の標準スコアよりも少し下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	区の標準スコアよりも少し上回っている。	区の標準スコアよりも少し上回っている。 (第2学年時)	区の標準スコアよりも少し上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より校内平均正答率が上回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期的に単語テストを実施し、語彙力向上を図る。 またスピーチテストを実施し、話す（発表）の力を伸長する。	教科書内容や実生活に即した問題に対し、グループワークを通して様々な視点から解決策を考えさせ、判断力・表現力を伸長する。	ICT 機器等を活用した授業を行い、生徒たちの学習意欲を高め、自ら英語学習に取り組もうとする姿勢を育成する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期的な単語テスト、音読、既習文法を活用した1問1答のペアワークを実施し、基礎・基本の定着を目指す。スピーチテストを行い、書く、話す（発表）の力を伸ばす。	言語活動を中心にアウトプット活動に力を入れ、主に自分のことや自分の意見を英語で表現できる力を身につける。	ICT 機器等を活用して、自ら学習に取り組む姿勢を育成する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ペアワークを中心に、今まで学んだ文法を使用した英語表現を多く学ぶ機会を作る。スピーチテストを行い、書く、話す（発表）の力を伸ばす。	言語活動を中心に、様々なことを英語で表現できる力を身につける。	ICT 機器等を活用して、自ら学習に取り組む姿勢を育成する。